

大淀川の環境保全評価



太田昭宏国土交通相（右端）から表彰状を贈られた
NPO法人大淀川流域ネットワークの杉尾代表理事
（右から2人目）＝同法人提供

流域ネットワーク（宮崎）

大淀川流域の環境保全などに取
り組む宮崎市のNPO法人・大淀
川流域ネットワーク（杉尾代表
理事、110人）は3日、本年度
の国土交通省・水資源功績者表彰
設。水資源の開発や保全などに関

を受賞した。本県からの受賞は2
006年の北川漁業協同組合（延

岡市）以来、9年ぶり4団体目。

同賞は1979（昭和54）年創

設。水資源の開発や保全などに関

国交省表彰「今後も啓発に全力」

する功績が顕著な団体や個人をた
たえるもので、本年度は同ネット
ワークを含む8団体、2個人が受
賞した。同ネットワークは独自の
水辺環境指標を作成したり、技術
者を対象とした環境学習会を開い
たりしている点が評価された。

同ネットワークは「大淀川を昔
の清流に戻そう」と2004年度
に発足。透明度や臭いなど五感を
使った水辺環境指標を作成し児童
や教職員らに指導しているほか、
水辺環境を壊さない河川工事の在
り方を学ぶ研究会を開催。水辺の
ごみ調査や、親子カヌー体験を開
くなど体験型学習にも力を入れた
いる。さらに日常的に河川環境を
調査・研究し、環境保全に関して
行政に提言することも。環境団体
との連携を深めるための交流や情
報交換会なども開いている。

同省であった授賞式には、杉尾
代表理事と事務局員の2人が出席
し、太田昭宏国土交通相から表彰
状を受け取った。杉尾代表理事は
「今後も啓発活動などを通じて次
世代に美しい川を残していきた
い」と意気込んでいる。

稚魚育ちやすい環境に

学生らせせらぎ水路清掃

宮崎市

「水」をテーマにした環境保護イベント「AQUA S OCIAL FEST! 2015」(NPO法人大淀川流域ネットワーク、宮崎日新聞社共催、国土交通省宮崎河川国道事務所、宮崎市後援)は26日、宮崎市の大淀川市民緑地であった。せせらぎ水路を掃除し、稚魚が主恵しやすい場所をつくった。

トヨタ自動車は全国で展開している事業の一環。4年目の今回は、専門学校生や親子連れら約100人が参加した。小雨がばらつく中、参加者たちはせせらぎ水路を約400mにわたってチッキン

ンでこすってきれいにした。大淀川左岸では、積もった土砂をスコップで掘り起こして、せせらぎ水路と稚魚が主恵

している場所をつないだ。

2回目の参加となった宮崎市の大宮小4年、大磯孝記君(9)は「せせらぎ水路にはいっぱいコケが生えていて、左岸で土砂をスコップで掘る時はすごく重かった。みんなで大淀川をきれいにできるといい」と話していた。



大淀川左岸の土砂を掘り起こして稚魚の主恵場とせせらぎ水路をつなげる参加者たち